よい子 つよい子 できる子

新井小学校たより６月号　　平成29年6月26日
ＨＰアドレス　http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/

基礎基本の定着を図るための習慣を躾ける

～ 当たり前の共有と徹底 ～

校長　　川住晴彦

６月は、寒暖の差が激しかったですね。新井小では、体調を崩す子どもや職員がたくさんおりました。みなさまはいかがでしたでしょうか。

さて、基礎基本の定着を図るための習慣を躾ける ～ 当たり前の共有と徹底 ～ が、今年度の当校の基本方針の一つです。具体的には、次のようなことを指導の指針としています。

・返事、「ありがとう」「ごめんなさい」「お願いします」、机上やいすの整理整頓等の生活習慣
・ノートの使い方、鉛筆、消しゴム、定規の使い方等の学習技能の確実な習得
・時と場と状況（特に、職員に対して）に応じた話し方の指導と確実な習得

1年生は、とっても元気で活発です。廊下（当校では「ワークスペース」と呼んでいます。）を走って叱られることがあります。私は、見かけると、「走るな！」と一喝します。（「廊下は走りません。」などと叱っているのかどうか分からないような言い方を私はしません。）すると、立ち止まって、「はい。」とすぐに正します。すぐにやり直しをする子もいます。叱られ上手です。一方、音楽や体育などで特別教室に移動した後の教室を見ると、３教室ともいつも机といすがきちんと整頓されています。教師が指導した上で、子ども自身がしっかりと整頓しているのです。

２年生。私が出張で出かけるとき、玄関で、「校長先生、どこ行くの？」と聞いてきます。「出張で、これから○○まで行くんだよ。」と言うと、「行ってらっしゃい。気を付けてね。」と声をかけてくれます。先日、出張から帰って玄関を入ろうしたときは、一足先に入った子がドアを開けて待っていてくれます。「ありがとう。」と声をかけるとすかさず、「どういたしまして。」と答えます。なかなか言える言葉ではありません。家庭と学校で教えている成果なのだろうなあと思います。

どの学年も、授業を受ける姿勢が良くなっている子どもが増えています。職員室に入るときも、「○年○組の○○です。○○先生に用があって来ました。」「……。おたよりを取りに来ました。」としっかりと言えるようになってきています。

「当たり前の共有と徹底」は、新井小の職員が身に付けさせたいことを共有し、身に付くまであきらめないで徹底することです。よいときはほめ、悪いときは指摘し指導していく中で、基礎基本として定着させたいと考えています。

今年も、国立妙高青少年自然の家で「妙高フレンドスクール」が行われました。６年生が家族と離れての５日間を過ごしました。初めて会う他校の子どもとダンスの振り付けを考えて練習し、食材を組み合わせて「びっくりランチ」を作って食べ、何よりも朝から晩まで一緒に過ごす。不自由で窮屈なことは間違いありませんが、その中で感じたり学んだりすることはとても多いはずです。妙高市教育委員会の方も一緒に活動し、夜は宿泊してくださり、全面的にサポートしてくださる素晴らしい活動です。閉校式で、「自分の良さや個性に気付いたことを大事にし、一緒に過ごした仲間の姿に学んだことを自分に生かしてほしい。」「活動を支えてくれた大人のスタッフに感謝の気持ちをもってほしい。」「学校で待っている1～５年生に一人一人の新しい姿を見せてほしい。」と話しました。

1学期もあと1か月です。新井っ子がどのように成長してくれるのか、楽しみです。

＜学年の活動紹介＞

つばさ　1年生

安全に歩きます！

１年生は、学校にも慣れ、毎日元気に生活しています。通学路もしっかり覚え、安全に気を付けながら登下校をしています。

５月には、交通安全指導員の方と警察の方から、安全な歩き方と横断歩道の渡り方を教えてもらいました。横断歩道では、「右見て、左見て、また右を見て」から手を高く上げて渡ることをもう一度確認しました。自分の目で安全を確かめて、事故にあわないように歩行することを学びました。

かがやき　2年生

野菜の成長が楽しみ！

５月１０日に六･十市へ苗を買いに出かけました。

子どもたちはお目当ての苗を買うために、色々なお店を見て回りました。勇気を出して「オクラの苗はありますか？」と尋ねる子、他のお客さんから「どこの小学校だね？」と聞かれ笑顔で答える子、苗を植えるときのコツを教えてもらう子・・・かがやきっ子の生き生きした姿がたくさん見られました。

学校に帰ってからは、オリジナル看板の前に、自分たちの苗を植えました。成長が楽しみです。

にじいろ　3年生

交通安全教室をしました！

５月に交通安全教室を実施しました。警察の方や市の交通安全指導員さんから、自転車の安全な乗り方を教えていただき、実際に全員が体験しながら学びました。横断歩道を渡る時は、自転車から降りて渡ることや、発進するときは、後方から車が来ていないかを確認することが大事だということなどを知ることができました。

また、ヘルメットの大切さについてもお話ししていただきました。今回の学びを生かし、自分の命を守るために、安全に自転車に乗ってほしいと思います。

たいよう 4年生

十三川水辺公園へ行きました！

６月７日に新井小学校区にある十三川水辺公園に探検に出掛けました。川の水は、まだ冷たかったのですが、川の中に魚はいないか探したり、友達と水を掛け合って遊んだりしながら楽しんで活動しました。探検する中で、やごがとんぼに羽化する場面を見ることができた子どももいました。

川の楽しさを実感すると共に、「また行きたい。」「今度は魚を捕まえたい。」という思いが高まったようです。

ひまわり 5年生

田植えをがんばりました！

総合学習の体験活動として、田植えに挑戦しました。雨また雨で、延期が続きましたが、６月５日に大黒屋商店さんのご協力のもと、ようやく行うことができました。暑くも寒くもない、ちょうどよい田植え日和でした（待った甲斐がありました！）。

田植え初体験の子どもたちが多かったのですが、スタッフの指導のもと、どんどん上達し、終盤では実に手際よく植えていました。

スマイル 6年生

オリジナル時計作り体験！

シチズン時計妙高株式会社の皆様からご協力をいただき、社長さんを含め１４名の方から時計作りを教えていただきました。文字盤を自分でデザインし、細かい部品を組み合わせ、世界に一つしかない、とっておきの腕時計を作りました。

また、社員の皆様から話を聞いたり質問したりすることを通して、はたらくことについて考えを深めることができました。

よりよい人間関係をめざして

新井小学校では、人と人とのかかわりの中で、一人一人のよさや違いを認め合い、自分も相手も大事にできる子を育てていきたいと考えています。そのために、**「我慢する心と力を身に付け、相手や周りの気持ちを考え、よりよく行動できる子」や「つらいことや苦しいことに対しても、仲間と支え合い、ねばり強く取り組む子」**を目指していきます。

そこで、今年も友達と協力したり、よさを発揮したりする活動を積極的に取り入れていきます。また、年間を通してあいさつ運動も行っていきますので、保護者の皆様からもお子さんへの励ましや、明るいあいさつをよろしくお願いいたします。

＜あいさつ運動＞

＜なかよしチームで自己紹介＞

『いじめ見逃しゼロ週間』の取組

新年度が始まり２ヶ月が過ぎました。この時期になると子どもたちは新しい学年やクラスにも慣れ、緊張もほぐれてきました。反面、学習や生活、友達との関係で悩んだりする子どもたちも出てきます。子どもたちの変化に気づかいながら、見守っていきたいと思います。

６月は、「いじめ見逃しゼロ県民運動」として、県全体でも様々な取組を行っています。そこで、新井小学校でも６月１日（木）～７日（水）までの１週間を、『いじめ見逃しゼロ週間』としていじめのない明るい学校を目指しました。まず、子どもたちの人間関係や悩みなどを把握するために、学校生活アンケートを行い、一人一人の子どもたちと教育相談をしました。また、いじめ見逃しゼロをテーマにした標語をもとに、いじめについて話し合ったりふれあい給食や全校ＳＳＥなどを実施したりして、友達同士のふれあいや人と人とが気持ちよく生活するための関わり方を学びました。今回は、全校ＳＳＥの取組を紹介ます。

全校ＳＳＥ～上手な話の聞き方～

今年初めての全校ＳＳＥ（ソーシャルスキル）を行いました。子どもたちには、「友達と仲良しになる」「みんなと気持ちよくすごす」ために、ソーシャルスキルの勉強が大事だという話をしました。そして、第１回目は「上手な話の聞き方」について学習しました。体育館で職員が、よい話の聞き方と悪い聞き方の劇をして、上手な話の聞き方について考えました。その後、教室にもどり、普段の自分の話の聞き方を振り返ったり、班やとなり同士で話を聞き合ったりしました。

相手の話をよく聞くことは、自分も相手も大事にする第一歩だと考えます。今後、この学習を生かし、話をよく聞き、相手の気持ちを思いやれる“あらいっ子”になることを期待しています。

＜ふれあい給食＞

口をとじて、相手に顔を
向けて、うなずきながら

＜話の聞き方の劇＞